

地区計画検討会 を開催しました!

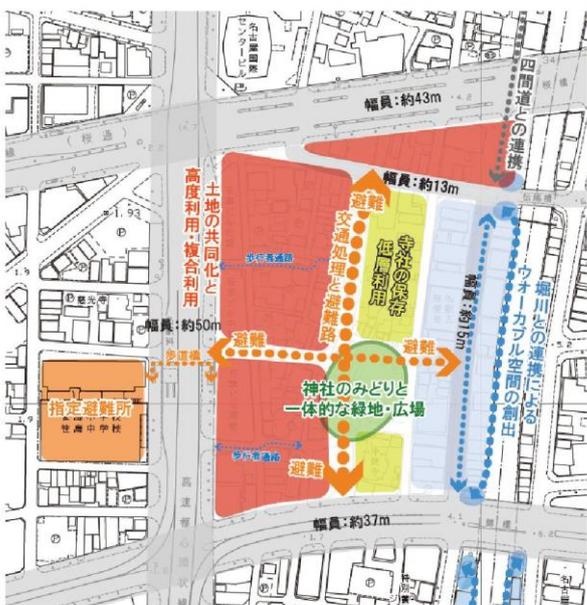
実施日：2025年1月23日



前回までの3回の検討会を通じて示されたご意見等を踏まえ、地区計画素案のタタキ台※(以下「タタキ台」)を提示し、意見交換を実施しました。

タタキ台の考え方として、脆弱な都市基盤の解消及び建物更新による防災性の向上、地域資源の承継・活用と名古屋都心部に相応しい土地利用への更新を図ることにより、**住んでよし、働いてよし、楽しんでよしのまち**を実現することが目的として提示されました。

また、そのための基本方針として、**①避難路確保や円滑な交通処理のための地区幹線道路の整備 ②防災性確保や地域交流・地域活動・山車文化の継承に資する広場空間の整備 ③地区の特性に応じた土地利用方針の設定 ④桜通・錦通・江川線に面する地区における開発事業の実施・土地の高度利用を想定した地区施設の配置 ⑤寺社・堀川等の既存のまちづくり資源の活用**が示されました。



地区計画素案のタタキ台のイメージ

地区計画素案のタタキ台の考え方

- | | |
|------|--|
| 目的 | ① 狭幅員道路で構成された脆弱な都市基盤の解消による防災性の向上を図る。 |
| | ② 地域資源の承継・活用を図るとともに、名古屋都心部に相応しい土地利用(複合市街地)への更新を図る。 |
| 基本方針 | ① 道路幅員10m以上の道路への避難路確保と円滑な交通処理に資する地区幹線道路を新たに整備する。 |
| | ② 都心部における複合市街地として防災性の確保や地域交流、山車文化の継承に資する空間として公園を新たに整備する。 |
| | ③ 桜通・江川線・錦通(幅員30m以上の広幅員道路)に面する地区において市街地再開発事業等の開発事業の実施(段階的な土地利用更新も想定)も踏まえた土地の高度利用を想定しつつ、既存道路の整備状況を踏まえ地区幹線道路等の地区施設を配置する。 |
| | ④ 地区内及び地区周辺に存する既存のまちづくり資源(寺社・堀川など)の活用を図る。 |

第1回
検討会
(まちの
現状・課題)

第2回
検討会
(地区内
ネットワーク)

第3回
検討会
(土地利用方針
地権者メリット)

地区計画素案の作成に向けた意見交換を行うための協議材料として提示したものです。

意見交換では、山車蔵の保存など文化の継承方法や広場の位置、容積率の上限設定の考え方、ユニモールの延伸による地下道との接続、防災面だけでなく防犯面の強化の必要性、戸建てエリア確保の必要性、緑の確保による地域イメージの向上など、より具体的な内容についてのご意見等が示されました。

また、**提示されたタタキ台の考え方に対しては、参加者の皆様が賛同していることが確認できました。**

今回の検討会でのご意見等を踏まえ、合意形成のための構想案の作成、合意形成の方法などについて検討し、関係者の合意形成に向けた取り組みを進めていく予定です。



名駅東花車・船入地区まちづくりの会

住所 名古屋市中村区名駅五丁目6番13号 尾張屋洋品店 2階
電話 070-8401-6952 URL <https://meieki5funairi.com>

一般会員および賛助会員を随時募集しています。詳しくはホームページをご確認ください。



公式HP



公式X